

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

- ・ 地域密着型特別養護老人ホーム あその杜
- ・ 居宅介護事業所 あその杜
- ・ 地域密着型通所介護 あその杜

目 次

| | | | |
|-----|----------------------------|------------|-----|
| I | はじめに | ・・・・・・・・・・ | 1 |
| II | 全体事業報告 | ・・・・・・・・・・ | 1～2 |
| | 1 指導監査指導及び建築物防災査察実施結果 | | |
| | 2 施設整備状況 | | |
| | 3 職員状況（①職員内訳、②職務配置、③有資格状況） | | |
| | 4 研修等 | | |
| III | 事業所別事業報告 | | |
| | 1 特別養護老人ホームあその杜 | ・・・・・・・・・・ | 2～3 |
| | 専門部門 | | |
| | 2 医務部 | ・・・・・・・・・・ | 4～5 |
| | 3 栄養部 | ・・・・・・・・・・ | 5 |
| | 2 ショートステイあその杜（空床利用） | ・・・・・・・・・・ | 5～6 |
| | 2 居宅介護支援事業所あその杜 | ・・・・・・・・・・ | 6 |
| | 3 デイサービスセンターあその杜 | ・・・・・・・・・・ | 6～7 |
| V | 防火・防災訓練報告 | ・・・・・・・・・・ | 7 |
| VI | 課題・次年度の提起 | ・・・・・・・・・・ | 7 |

I. はじめに

歴史的なインフレが世界経済を襲ったこともあり、物価高騰で食品やエネルギーの値上げとなり、施設運営にも影響し続けている。また、コロナウイルス感染症の流行により人との交流を控えた結果、施設の孤立化や独居高齢者等の孤独死などの問題が発生した。そのような社会情勢において施設運営は厳しい状況である。団塊の世代が高齢者となる2025年問題を目前に介護者不足も問題となっており、施設運営継続をどのように考えていくか課題である。

II 全体状況報告

令和4年度より阿蘇市において高齢者支援を開始したが、入所者の確保や職員指導の他、新型コロナウイルス感染症の発生により対応に追われた1年であった。また、施設設備等の不備により修繕や買い替えが次々とあり大変厳しい運営状況であった。職員採用においては、職員不足のため、4名の特定技能実習生を採用した。

- 1 県監査指導(10/25)「ショートステイ」阿蘇市監査指導「特養」：特になし
建築物防災査察(3/6)スプリンクラー設備の改修を早急に行うこと。改修までの間は見回り等の回数を増やして火災予防に努めること。非常用照明の不点灯箇所、排煙設備が一部開閉不良があるため改修をすること。

*上記、指摘に対して改善等は時間を要することからR5年4月にかけて改善を実施。

2 施設整備状況

- ・凍結による破損修理・交換(スプリンクラー、1Fデイサービス内エアコン・室外機)
- ・階段手すり修理・厨房エアコン修繕・排水菅詰まり改善 ・排水污水設備修理
- ・小荷物昇降機かごガイドショー修理 ・エレベーターブレーキスイッチ交換
- ・特養居室ドア修理 ・パソコン購入

3 職員状況(R5.3.31現在)

①職員内訳：人員39名：(正職・嘱託27名 パート8名 特定技能実習生4名)

年間新規採用者：14名(ケアマネ1名 特養介護職員3名 特養生活相談員1名

デイ看護職員1名(パート) デイ介護職員1名(パート) 調理員3名 特定技能実習生4名(インドネシア2名ネパール2名)

年間退職者数：5名(介護職員2名 デイ看護職員1名(パート) 調理員1名(パート) 介護支援専門員1名)

②職務配置

| | | |
|----------------------|-----------------------|---------------|
| 介護支援専門員2名 | 特養生活相談員1名 | ユニットリーダー3名 |
| 特養看護職員2名 (内パート1名) | 特養介護職員12名 (内パート3名) | 特定技能実習生4名 |
| 機能訓練指導員1名(パート) | デイ介護職員4名 (内パート1名) | デイ看護職員1名(パート) |
| 調理員6名(内パート2名) | デイ生活相談員1名 | 管理栄養士1名 |
| 宿直専門員1名 | | |

③有資格状況

| | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| 介護支援専門員 2名 | 介護福祉士 13名 | ユニットリーダー研修修了 4名 |
| 看護師 3名 | 管理栄養士 1名 | 認知症ケア専門士 1名 |
| 認知症ケア管理指導士 1名 | 社会福祉主事 5名 | 安全衛生推進者 1名 |
| 認知症リーダー研修修了 1名 | 認知症実践研修修了 2名 | 医療的ケア指導員 1名 |
| 技能実習生指導員研修修了 1名 | 初任者研修修了 3名 | 介護職員実務者研修修了 1名 |
| 認知症基礎研修修了者 2名 | 特定行為業務従事者 3名 | 安全対策担当養成研修修了 3名 |

4 研修等

① 施設内研修

| | | | |
|--------|-----------|-------|-----------------|
| 9月・3月 | 事故防止について | 9月・3月 | 虐待防止・身体拘束防止について |
| 10月・3月 | 感染症防止について | | |

② 新人研修

| | | | |
|----|----------|----|-----------|
| 4月 | 川上勉・園田金子 | 6月 | 山口絹子・宮本和明 |
| 9月 | 真鍋美晴 | | |

③ 外部研修

| | | | | | |
|-----|--------------|------|-------------|-----------|------|
| 7月 | 医療的ケア教員講習会 | 中川嘉代 | 11・12 2月 | 会計事務関係研修 | 園田金子 |
| 11月 | 技能実習生指導員研修 | 中村正蔵 | 10月 | 権利擁護（看護） | 中川嘉代 |
| 11月 | ユニットリーダー実地研修 | 鬼塚勝仁 | 4月 | 実務者研修実地研修 | 堀川淳 |

④ WEB研修

| | | | |
|-----------|------------------------------|---------|--------------------|
| 9・1 3月 | 介護支援専門員協会研修会（渡辺啓介） | 6 3月 | 認知症ケア専門士研修大会（渡辺啓介） |
| 12月 | 介護支援専門員更新研修（渡辺啓介） | 7月 | ユニットリーダー研修（鬼塚勝仁） |
| 8月 | 認知症基礎研修（松岡一敏・松岡美鈴） | 10月 | 実務者研修座学（堀川淳） |
| 9月 1月 | 安全対策担当者養成研修（川上努） //（中村正蔵） | | |

III 事業所別事業報告

1. 特別養護老人ホームあその杜（定員 29名）

(ア) ユニットケアの充実

14名2ユニットからの開設であったが、徐々に入所者が増え25名3ユニット稼働することができた。ユニットケアを職員に理解してもらい、リーダーを中心に各ユニットでの活動を予定したが、コロナ感染症の流行により制限された活動となった。

(イ) 事故防止及び身体拘束廃止

開設初日より転倒事故が発生した。職員一人ひとりの認識が低く何度も同じミスを繰り返しており、報告書を提出するだけで改善策を実施していない状況で事故が発生していた。

(ウ) 看取り介護

1名の看取りに入ったが、医療的な行為を本人も家族も希望されたことから入院となり、そのまま病院で亡くなられたため、実施途中で中止となった。

(エ) 地域貢献としての役割の推進

コロナ感染症の流行により地域交流の機会はほとんどなかったが、1月に家族会が設立されたことから、家族会向けに認知症についての勉強会を外部講師を招いて開催した。

① 入所者状況 (R5. 3. 31 現在) 〈入所者 14 名からスタート〉

| | R4. 4 | R4. 5 | R4. 6 | R4. 7 | R4. 8 | R4. 9 | R4. 10 | R4. 11 | R4. 12 | R5. 1 | R5. 2 | R5. 3 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|----|
| 入所者数 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 | 2 | 13 |
| 退所者数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 14 | 14 | 14 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | 18 | 19 | 23 | 25 | 25 |

特養利用者推移. 利用状況 (R5. 3. 31 現在)

| 月 | 月稼働率 (%) | 月 | 月稼働率 (%) | 介護度別 (名) | | 年齢別 (名) | |
|---|----------|----|----------|----------|----|---------|----|
| | | | | 介護度 | 名 | 年齢 | 名 |
| 4 | 48.2 | 10 | 62.1 | 介護1 | 0 | 60代 | 0 |
| 5 | 48.2 | 11 | 62.1 | 介護2 | 5 | 70代 | 2 |
| 6 | 48.2 | 12 | 62.1 | 介護3 | 13 | 80代 | 8 |
| 7 | 58.6 | 1 | 65.5 | 介護4 | 8 | 90代 | 17 |
| 8 | 58.6 | 2 | 79.3 | 介護5 | 1 | 100代 | 0 |
| 9 | 58.6 | 3 | 86.2 | | | | |

入所判定会議

| 実施日 | 6/22 | 8/3 | 9/14 | 10/14 | 12/9 | 1/18 | 2/8 | 3/17 | 計 |
|--------|------|-----|------|-------|------|------|-----|------|----|
| (対象人数) | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 18 |

② 事故報告

転倒・転落 11 件、与薬ミス 7 件 計 18 件

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 件数 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 |

③ 行事報告

| | | | |
|----|-----------------|-----|----------------|
| 4月 | 花見・誕生会 | 10月 | 介護実習生受け入れ・誕生会 |
| 5月 | 散歩・利用者家族説明会・誕生会 | 11月 | 子安河原観音紅葉見学・誕生会 |
| 6月 | 防災訓練・誕生会 | 12月 | クリスマス会・防災訓練 |
| 7月 | そうめん流し・誕生会 | 1月 | 初詣 (中止)・誕生会 |
| 8月 | 夏祭り・誕生会 | 2月 | 節分豆まき・誕生会 |
| 9月 | 敬老会 | 3月 | ひな祭り・誕生会 |

IV 専門部署事業報告

1 医務部

健康な施設生活を送れるよう介護職・栄養課と連携し利用者の健康管理を行った。しかし本年度はコロナウイルス感染症の流行したため、職員から利用者への感染を防止するための防止策を職員全員に周知徹底した。また、ガウンテクニックや利用者対応について適切に実施できるよう外部専門員を招き指導を行うとともに、ワクチンの接種を推進し定期的な抗原検査の実施を行った。喀痰吸引については、看護主任が医療的ケア指導員の資格取得し、特定行為従事者の介護職員等が喀痰吸引を実施できる環境を整えた。

(ア) 感染予防対策の徹底

- ・入所者へ4・5回目のコロナ感染症の予防接種を実施（R4・1月）
- ・週1回のコロナウイルス感染症抗原検査の実施と報告（R4.10～現在に至る）
- ・消毒の徹底、職員のマスク着用、面会の制限など対策を徹底
- ・感染予防研修の実施（県委託事業にて外部講師による研修・実技 R4.10）
- ・施設におけるコロナウイルス感染症発生におけるユニット隔離の実施と隔離に合わせた職員勤務編成の実施

(イ) 健康診断と健康管理

- ・入所者の定期診察及び健康相談は、毎月2回、血液検査等は10月と3月に実施
- ・胸部X-P検査10月実施（胸水貯留1名、右下肺野結節陰影1名）
- ・職員健康診査及び腰痛予防検診は11月、3月は夜勤対象者対象に2回目を実施
- ・入院、外来受診状況について

＊入院は延べ12名（転倒骨折1名、肺炎2名、薬物調整1名、白・緑内障手術1名、肝機能障害1名、発熱2名、下痢・悪寒3名、食事量低下1名）

外来受診状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|-----|
| 坂梨ハートクリニック | 4 | 12 | 8 | 8 | 4 | 5 | 5 | 7 | 2 | 7 | 5 | 8 | 75 |
| 阿蘇医療センター | 2 | | | | 2 | | | 1 | | | | 1 | 6 |
| セントラル病院 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 9 |
| あそやまなみ病院 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 熊大病院 | | | 3 | 1 | | | | | | | | | 4 |
| 岩上眼科 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 9 |
| 阿蘇立野病院 | 3 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 5 |
| きずな歯科 | 4 | 3 | 3 | 4 | 5 | 4 | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | 4 | 41 |
| 菊陽病院 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 小野主生眼科 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 家入整形外科 | | | | | 1 | 1 | 6 | | | | | | 8 |
| 阿蘇温泉病院 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 計 | 15 | 18 | 17 | 16 | 14 | 12 | 17 | 13 | 5 | 9 | 11 | 13 | 160 |

(ウ) 異常の早期発見と重症化防止

- ・看護より嘱託医へ異常時は速やかに連絡・相談し指示を仰いだ。必要に応じ受診する事で治療することができた。しかし、中には急激な病状悪化や末期症状のため入

院治療するも病院で亡くなられた方が2名あった。

- ・PTに月2回訪問リハビリの実施予定もコロナウイルス感染症の流行で中止が続
き、機能訓練指導員のリハビリ実施も十分にはできなかったが、出来る範囲で実施
した。

(エ) 看取り介護の状況

- ・1名の看取りを実施開始したものの途中で本人・及び家族の意向が変わり入院さ
れ、結果、そのまま亡くなられた。

2 給食・栄養部

食に対する意欲を引き出せるよう、献立のバランスや味・温度等おいしく食べれ
る工夫を行った。また、摂取量の確認を行い、不足が生じた場合には低栄養にな
らないよう栄養補助食品を提供した。しかし、栄養摂取に関して新たな課題も出
てきている。

(ア) 栄養管理

- ・残食量確認や思考調査を実施し献立に反映した結果、徐々に残食量が減った。
- ・カルシウムやビタミン不足を補うため、ご飯にカルシウム粉を追加、おかずで不足
分のビタミンは果物やゼリーなどで補った。
- ・食物繊維不足が目標の18g以下(13g)だったため、改善検討課題となった。

(イ) 衛生管理

- ・温度管理の徹底と清潔保持のための清掃等及び厨房職員の検便検査も規定通り実
施した。

(ウ) 食事形態

- ・介護・看護と連携し朝礼で情報収集し体調に合わせた食事提供ができた。
- ・接種困難時は栄養補助食品(飲料)の提供や、麺類、アイスクリームなど提供した。

2. ショートステイ あその杜 (空床型)

特養の空室を活用し受け入れを調整した。徐々に特養入所が決まり空室残が少なくな
ったが入所待機での利用や定期利用者を優先し継続した利用であったことから、ほぼ満
床の状態であった。特養入所者満床となった際の併設型ショート開始時期のタイミン
グを考え、今後は併設型ショートの開設に向けた準備する必要がある。

(ア) 事業の取り組み

- ・介護者の都合やレスパイトケアのための利用の実施
- ・阿蘇市施設においてコロナウイルス感染症クラスター発生し受け入れ先制限された
ことによる単発的な利用の実施
- ・認知症の症状による専門医受診前の受け入れ先としての利用の実施
- ・特別養護老人ホーム入所待機の場所としての連続使用の実施

施設利用状況等

短期入所利用者の内訳（要支援の利用なし）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 介護1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 3 | 4 | 4 | 1 | 18 |
| 介護2 | 3 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 | 2 | 3 | 7 | 5 | 6 | 5 | 47 |
| 介護3 | 4 | 4 | 3 | 2 | 2 | 4 | 5 | 3 | 6 | 1 | 4 | 5 | 43 |
| 介護4 | | | | | 2 | 2 | 2 | | | | | | 6 |
| 合計 | 8 | 9 | 8 | 4 | 7 | 11 | 9 | 7 | 16 | 10 | 14 | 11 | 114 |

3. 居宅介護事業所

4月開設するも有資格者職員退職により6月より休止中。(令和5年6月まで)

4. デイサービスセンターあその杜（定員18名）

10月より土曜日の営業を開始した。本年度は、コロナウイルス感染症の流行でサービス利用に対する制限を行ったり、6日間休止した事で利用者数が減少し運営状況が厳しくなった。

(ア) 事業の取り組み

- a. 施設全体のパンフレットだけでなく、デイサービスを紹介するパンフレットを作成し居宅介護事業所や本人・家族へ事業内容を分かり安く説明することができた。
- b. コロナ渦において集団作業を個別活動として実施し、利用者の満足度を得ることができた。また、季節ごとに壁画を作成し事業所入り口に飾り付け活気ある施設環境作りを行った。
- c. 利用者やご家族の声を反映できるよう毎日の終礼で情報共有し、統一した対応を心がけた。
- d. 居宅介護事業所へ月に1回訪問し良好な関係作りに努め、情報収集を行った。

(イ) デイサービス利用状況等

① デイサービス平均利用人数（1日あたり）平均利用人数 11.8名 平均利用率 64.3%

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 平均数 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 14 | 12 | 13 | 11 | 12 | 12 | 13 |
| 稼働率 | 61 | 61 | 61 | 60 | 63 | 77 | 69 | 60 | 56 | 66 | 66 | 71 |

② 利用者利用状況（R4年3月31日現在） *平均介護度 2.1 平均年齢 89.8歳

| 介護度 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 利用人数 | 6 | 14 | 6 | 4 | 0 |

| 年代 | 70代 | 80代 | 90代 | 100代 |
|------|-----|-----|-----|------|
| 利用人数 | 5 | 9 | 13 | 3 |

③ 事故報告

転倒・転落 1件 合計 1件

(ウ) 行事報告

| | | | |
|----|------------------------------|-----|---------------------------|
| 4月 | カラオケ大会・こいのぼり作成 きゅうり苗植・誕生会 | 10月 | 壁画（お月見）・誕生会 |
| 5月 | 壁画（こいのぼり）・菖蒲湯 | 11月 | 紅葉見学 |
| 6月 | 壁画（紫陽花）・誕生会 | 12月 | ゆず湯・クリスマス会・壁画（クリスマス）・誕生会 |
| 7月 | そうめん流し・おやつ作り・誕生会・壁画（七夕） | 1月 | 初詣・壁画（鳥居）・誕生会 |
| 8月 | 壁画（花火）・夏祭り・誕生会 | 2月 | 節分・壁画（ドレスの乙女）・誕生会・お花見ドライブ |
| 9月 | 敬老会 | 3月 | 花見（桜）・しだれ桜制作 |

V 防火・防災訓練報告

| | | | |
|------|--------|-------|------------|
| 6月9日 | 火災避難訓練 | 3月23日 | 夜間想定火災避難訓練 |
|------|--------|-------|------------|

- ・風水害（地震）の避難訓練の実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の流行でユニット間の交流や移動の制限を行ったため実施できなかった。
- ・備蓄品管理は、栄養課にて消費期限切れ間近の物は食事として提供し入れ替えを行った。

VI 課題・次年度の提起

令和4年4月開始日より令和5年3月末日において特養入所者が14名から25名となった。満床も目前ではあるが、高齢者は持病を持っている人が多く、入院治療する入所者は少なくない。（現在も1名の入院がある。）しかし、できるだけ早急に満床とし、施設運営を安定化させなければならない。そのためには、特定技能実習生の独り立ちと、未熟な職員の資質向上を図るため具体的な介護研修を実施し出来るだけ介護事故を防ぐとともに、よりよいサービスを提供することが必要である。また、新型コロナウイルス感染症の分類が変わると同時に生活そのものが変化していく中で、次年度は、急激な変化を避けながら徐々に緩和し、家族や地域の方との交流を進めて行くことで、地域密着型施設としての活動・参加を実施できるよう努めていきたいと考える。